

<606> 情報の内容の変遷から、情報技術の「授業づくり」のコツとは？

技術分野における情報の取扱いは、社会の情報技術の進展や普及に伴い、平成元年告示の学習指導要領の改訂から「F 情報基礎」として位置づけられたのが始まりです。その後、急速な情報技術の進展や普及に伴い、技術分野の情報の内容は、次の参考資料に示すように大きく変遷してきました。次の学習指導要領の改訂では、「技術・家庭科」から「情報・技術科」として教科新設される予定です。

情報の内容変遷から、情報技術の教科内容のねらいに近づけるために、「授業づくり」のコツを探ってみてはいかがでしょうか？

変遷について詳しく知りたい方は、参考資料をご覧ください。

参考資料：技術分野 情報の内容 変遷の概要（特徴を太字で示す）

F 情報基礎 ○コンピュータの仕組みと基本操作 ○プログラムの機能と簡単なプログラムの作成 ○ソフトウェアを用いた情報の活用、コンピュータの利用分野	平成元年告示	平成5年実施
B 情報とコンピュータ ○コンピュータの基本的な構成と機能及び操作 ○プログラムの機能と計測・制御、簡単なプログラムの作成 ○ 情報通信ネットワーク の特徴と利用方法 ○情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわり、 情報モラル	平成10年告示	平成14年 実施
D 情報に関する技術 ○デジタル作品の設計と制作 ○プログラムによる計測・制御 ○情報通信ネットワークと 情報モラル 、 情報に関する技術 の評価・活用、著作権	平成20年告示	平成24年実施
D 情報の技術 ○情報の技術の仕組み、 情報モラル ○技術による 問題解決 の工夫 ○情報通信ネットワークの仕組み、プログラムの制作・評価・修正 ○メディアを複合した 問題解決 ○計測・制御システムの仕組み、プログラムの制作・評価・修正 ○計測・制御による 問題解決 ○生活や社会、環境との関わり、 技術の概念 の理解 ○技術の評価、適切な活用の在り方、 新発想 による改良と応用	平成29年告示	令和3年実施